INTESTINE

次号予告

Vol.24 No.3（2020 年 8 月発行予定）

■特　集■

《クローン病小腸狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術 ―基本からピットフォールまで》

序　説　杏林大学医学部消化器内科学　久松　理一

Ⅰ．IBD に対する小腸治療内視鏡の発展の歴史　岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野　松本　主之

Ⅱ．クローン病小腸狭窄病変に対するバルーン拡張術

(1)総　論　福岡大学医学部消化器内科　平井　郁仁

(2)バルーン拡張術は患者の予後を変えたのか？　公立甲賀病院　辻川　知之

(3)定期的拡張術か，エピソーディックな拡張か？　兵庫医科大学腸管病態解析学　渡辺　憲治

(4)クローン病におけるバルーン拡張術のコツ

a. ダブルバルーン内視鏡の立場から　名古屋大学医学部病態内科学消化器内科　中村　正直

b. シングルバルーン内視鏡の立場から　東京医科歯科大学光学医療診療部　大塚　和朗

(5)施設の工夫

a. キャストフードの有用性　自治医科大学消化器内科　矢野　智則

b. 困難症例における工夫　大船中央病院光学診療部　吉田　篤史

(6)ピットフォール―悪性狭窄との鑑別　大阪市立大学消化器内科学　細見　周平

(7)症　例

a. 小腸狭窄病変　大船中央病院消化器・IBD センター　遠藤　豊

b. 回腸-結腸吻合部狭窄　小樽掖済会病院消化器病センター　勝木　伸一

c. 拡張術によるカプセル内視鏡回収　東京女子医科大学消化器内科　大森　鉄平

d. トラブルシューティング―穿孔　福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター　岸　昌廣

e. トラブルシューティング―出血　自治医科大学消化器内科　砂田圭二郎

Ⅲ．Spiral enteroscopy in Crohn's disease　Internal Medicine, Evangelisches Krankenhaus Düsseldorf, Düsseldorf, Germany　Horst Neuhaus

Ⅳ．海外の文献を読み解く―クローン病狭窄病変に対する切開法は有効か？　北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター　小林　拓

■ TOPICS ■

Endocytoscopy for the differential diagnosis of colorectal low-grade adenoma：a novel possibility for the "resect and discard" strategy　昭和大学横浜市北部病院消化器センター　工藤　豊樹

Incidence of advanced colorectal neoplasia in individuals with untreated diminutive colorectal adenomas diagnosed by magnifying image-enhanced endoscopy　国立がん研究センター中央病院検診部門　関口　正宇

前号のご案内（『INTESTINE』Vol. 24 No. 1）

ここまで来た *de novo* cancer

発育進展から見た *de novo* cancer の位置づけ／*De novo* cancer 発見への挑戦／*De novo* cancer の内視鏡診断（拡大）／*De novo* cancer に対する人工知能の可能性／*De novo* cancer の浸潤・転移・再発リスク／*De novo* cancer の病理診断／海外における *de novo* cancer の現況／症例

INTESTINE ●特集のご案内

Vol. 24　No. 1　ここまで来た *de novo* cancer
No. 2　無痛大腸内視鏡挿入法―technique & device
No. 3　クローン病小腸狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術 ―基本からピットフォールまで
No. 4　拡大内視鏡を極める

2026/09/14 10:19:37